

ふただ

二田小学校だより

ホームページ <https://www.kenet.ed.jp/futada/>

※ホームページの「おたより」を日々アップしています。ぜひ、ご覧ください。



柏崎市立二田小学校

柏崎市西山町長嶺 1718 番地 Tel. 48-2054

令和3年1月29日 341号

令和2年度後期学校評価 ～アンケート集計結果から～

二田小学校では「ぐんぐんのびる」を教育目標にすえ、子どもたちに徳育・知育・体育の3つの観点から教育活動を展開してきました。児童、保護者、地域アンケートの集計結果から分かる達成状況と問題点・改善策をお知らせします。

I 徳育 互いのよさを認め合い、励まし合う子の育成

(児)児童へのアンケート (保)保護者へのアンケート (地)地域へのアンケート
A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:あまり思わない D:そうは思わない

項 目	A	B	C	D
学校のきまりやみんなとの約束、ルールを守っている。(児)	67%	25%	4%	5%
友達、先生、お客様、家の人、地域の人などに、元氣よく自分からあいさつをしている。(児)	51%	40%	7%	1%
友達や周囲の大人にきちんとあいさつや返事ができる。(保)	35%	47%	15%	2%
子どもたちは友達や周囲の大人にきちんとあいさつや返事をしている。(地)	33%	53%	13%	0%

児童への質問「学校のきまりやみんなとの約束を守っている」の結果は、児童・保護者とも前期より肯定的評価の割合が増えています。感染防止対策のための制限に子どもたちも慣れてきたのか、前期に比べルールを守って生活できています。しかし、廊下歩行や、バスの待ち方、ランチルームでの準備の際の声等は、引き続き指導していく必要があります。

あいさつについては、あまり声が聞こえない時もありますが、児童、保護者とも評価は上がっています。校外指導板等からは、班や個人による差がかなり大きいことがうかがえます。あいさつ指導は、声の大きさではなく、「しっかり相手の目を見て自分からあいさつする」ができるようにして指導していきます。



児童が中心になりいじめをしない誓いを立てるいじめ見逃しゼロスクール集会

項 目	A	B	C	D
自分は相手がいやがることをしたり差別をしたりしないように、言葉や行動に気をつけている。(児)	83%	17%	0%	0%
相手が嫌がることをしたり差別したりしないように、言葉や行動に気をつけている。(保)	48%	45%	7%	0%

廊下歩行、バスの待ち方、ランチルームでの過ごし方等は、安全面、感染防止の観点から、全職員が共通理解のもと、一貫した態度、指導方針で根気強く指導していきます。

児童への質問項目「自分は相手が嫌がることをしたり、差別をしたりしないように、言葉や行動に気をつけている。(児)」では、肯定的な回答が100%でした。人権教育、同和教育の授業の全校一斉実施や、やさしい言葉づかいができるようになるための「きらきら郵便」等の児童会主催の取組、縦割り班活動の充実により、思いやりのある言動のとれる子どもに育っています。

「君こそスターだ クリスマス会」は初めての児童会行事です。コロナ禍で発表の場がなくなった友達に発表の場を提供したいという子どもの思いから実現しました。当日は発表する子どもと観ている子どもの気持ちが一つになり、盛り上がりました。会場が優しい空気に包まれました。これからも、相手を思いやる子どもの活動を大切に、支援していきます。



児童会行事「君こそスターだ」飛び入りでダンスをする高学年男子

2 知 育 自分の思いや考えをもち伝え合う子の育成

項 目	A	B	C	D
学習したことが分かる(児)	60%	31%	7%	2%
学習で考えたことや思ったことを進んで書いたり発表したりしている。(児)	42%	35%	18%	5%
自分の考えや感想を書いたり発表したりして、学習に取り組んでいる様子が感じられる。(保)	24%	43%	27%	6%
家庭学習の内容を工夫している。(児)	39%	30%	21%	9%
家庭学習の内容を工夫している。(保)	20%	32%	37%	11%

児童への質問「学習したことが分かる」の肯定的な回答が91%と高かったです。その内訳も強い肯定を示すAが60%で大変良好な結果となりました。

感染防止をしながら、話し合い活動など対話的な場面を設定することが、好結果の要因として考えられます。自分の考えを伝え、クラスメイトから共感を得ることは子どもの自信につながります。また、多様な考えに触れることで、学習の幅が広がりより深い理解に役立ったと考えられます。

一方で、自分の考えを発表することには個人差が大きく、意見交流という点においては、教師の工夫と継続した指導が必要です。そのために、学年や個に応じて相手を意識した「話す・聞くスキル」の定着を目指します。生活科・総合的な学習の時間・社会科等のインタビュー活動などの実践的な場面で「話す・聞くスキル」が活用できるよう、思いや考えを伝える力を子どもたちに付けていきます。



地元のラプランタさんの協力で、柿を使ったお菓子の販売を実施(5年生)

3 体 育 いろいろな運動に親しみ、健康的な生活をする子の育成

項 目	A	B	C	D
体育授業は楽しい（児）	79%	18%	1%	1%
進んで体を動かす遊びや、スポーツに取り組んでいる。（保）	49%	26%	2%	0%
メディア（ゲーム・PC・スマホ・テレビ）は利用する時間を守っている。（児）	52%	28%	10%	9%
メディア（ゲーム・PC・スマホ・テレビ）は利用する時間をきめている。（保）	23%	38%	25%	13%

児童への質問「体育授業は楽しい」で肯定的な回答が98%と大変よい結果となりました。その要因として、上越教育大学の体育専門の先生から、体育授業に様々な工夫が提案・実施されたことや、新しい非接触型の運動を積極的に取り入れたことが考えられます。一方でメディアコントロールや望ましい生活習慣の確立には問題が残りました。



体育の整列でも密を避けています。

そこで今後は、家庭学習カードにメディア利用時間の項目を付ける等、子どもが自身のメディア利用の実態を実感できる工夫をしていきます。また、保護者と連携してメディア利用の仕方について考える機会を作っていきます。

コロナ禍で社会が大きく変化する中、メディア利用年齢が確実に低下しています。正しく使えば便利で、欠かすことができない学習ツールとなるIT機器ですが、同時にしっかりとモラルとルールを守らないと、不健全な生活・非行・いじめの温床になりかねません。今後も学校と家庭が連携し、子どもたちの健全育成に取り組んでいきます。

4 自由記述から

- ・地域ですれ違った時あいさつをしてくれるとうれしいです。（保）
- ・あいさつをしっかりとしてほしいです。（保）
- ・朝あいさつするが、返ってこない。（地）

あいさつに関する自由記述を複数いただきました。防犯の観点から地域において、誰にでもあいさつするように指導することは難しいのが現状です。身近な大人・友達等、知っている人に丁寧なあいさつができるように、「相手の目を見てあいさつをする」という目標を立て指導を続けていきます。また、学校ではしっかりとあいさつができる子どもでも、家庭や地域等、場面が変わるとあいさつに対する意識も変わり、声が出ない子どもたちもいるようです。家庭や地域と連携して継続して取り組んでいきます。

- ・いつどこでだれがコロナウイルス感染症に感染してもおかしくないことを実感した。どんな状況でも差別しない、だれも責めない環境作りが学校でも家庭でも必要だと強く感じた。（保）

市内での感染状況からご意見をいただきました。学習発表会では子どもたちと保護者が鑑賞する時間をずらすことで密を回避しました。この

ように、感染症予防をしながら、教育活動を進めてきました。また、道徳を要に、感染症が差別やいじめにつながらないように、心の教育も進めています。

・毎日HPを更新してくれてありがとうございます。学校の様子を知ることができました。(保)

ホームページは毎日更新しています。是非ご覧ください。

・スクールバスに乗せてほしい。(保)

これまでも保護者の皆様の声を教育委員会に伝えています。しかし「通学距離が規格外なので無理。」という回答です。引き続き要望していきます。



校内発表会を事前に行い、学習発表会を保護者・地域に向けて実施することで三密回避。

5 全体を通して

学校はどの子にとっても、楽しい場所ではありません。質問項目間の相関を見てみると、「学校が楽しい」と答えた子どもは、学習内容が分かり、メディアの約束を守り、歯磨きをしっかりとするなど規則正しい生活を送っていることが分かります。質問項目「学校が楽しい」に肯定的回答をした子どもが95%「学校生活を楽しく過ごしている」に肯定的回答をした保護者が同じく95%であったことは、喜ばしいことです。しかもA(そう思う)の割合が前期より上がっています。しかし、一方で「どちらかといえば楽しくない」と思っている子どもが5%、人数にして7人もいます。すべての子どもたちが「楽しい」と感じるように、これからも一層、一人一人に寄り添った教育に努めていきます。



基本的な生活習慣の定着を目指して、歯みがき指導を実施しました。

紙面の都合上、一部の質問項目の結果についてお知らせしました。すべての質問項目についての集計結果については、二田小学校のホームページで公開しています。



<コロナウイルス感染症防止対策について>

本年度はコロナウイルス感染症防止対策で運動会などの行事を中止・延期・縮小させていただきました。お子さんが活躍する姿を見ていただく機会が少なくなってしまう残念に感じています。二田小学校ではこれからも、その時の状況に合わせて、感染症予防を行いながら、教育活動を進めてまいります。今後ご理解とご協力をお願いいたします。



全員が同じ向きで給食を食べています。